

参考資料 ジェンダー問題に関連する『学術の動向』所載の記事一覧

日本学術会議におけるジェンダー問題への取り組みの経過をたどる資料として、『学術の動向』（1996年4月号から2003年5月号まで）に掲載された記事の一覧表を掲げておく。

なお、この他に、財団法人 日本学術協力財団の学術会議叢書3として『男女共同参画社会 - - キーワードはジェンダー』（2001年2月25日 171頁）が刊行されている。

西暦	月	区分	内容	執筆者	頁
1996	4	日本学術会議だより	JAICOWSとは？～第2常置委員会主催シンポジウム「女性科学者の環境改善をめざして」を踏まえ～第15期の提言から「女性科学者の環境改善に関する懇談会(JAICOWS)の今日まで	一番ヶ瀬 康子	66～68
1996	5	論壇	持続可能な地球環境の保全と社会・パラダイムの転換	原 ひろ子	48～50
1996	5	日本学術会議だより 平成8年3月18日 第860回運営審議会資料	要望書 {非常勤研究者が科学研究費申請に応募できるようにする件}、{性差別に関する不服申立に関する対応:専門的な機関の設置について}1996年2月15日	JAICOWS会長 一番ヶ瀬 康子 他有志一同	62～63
1996	5	日本学術会議だより 平成8年3月18日 第861回運営審議会資料	女性科学者の環境改善の緊急性についての提言(声明) 平成6年5月26日	日本学術会議 第118回総会	63～65
1996	6	随筆	国際シンポジウムにおける目ざましい女性の活躍 ～1996年日米加三国国際法シンポジウムに参加して～	鳥居 淳子	62～63
1996	9	特集 若手研究者	若手研究者に関する諸問題	佐藤 豪	8～14
1996	10	特集 女性科学者 座談会	明日を拓く女性科学者	利谷 信義、浅倉 むつ子、大野 涼、司会 島田 淳子	8～18
1996	10	特集 女性科学者	女性研究者のために制度改正の努力を	中塚 明	19～20
1996	10	特集 女性科学者	女性研究者問題20年	安川 悦子	21～22
1996	10	特集 女性科学者	自然科学と女性	西島 安則	23～25
1996	10	特集 女性科学者	知的専門職業的基準と女性加学者志望者	猪口 孝	26～27
1996	10	特集 女性科学者	女性科学者に明るい未来を	猿橋 勝子	28～30
1996	10	特集 女性科学者	私達は女性のオピニオンリーダーたりうるか？	数野 美つ子	31～33
1996	10	特集 女性科学者	女子大の行方を決める鍵は	天満 美智子	34～35
1996	10	特集 女性科学者	自学自動の精神と生涯学習	宮本 美沙子	36～37
1996	10	特集 女性科学者	女性の若手研究者の実情 - 平成7年度学術研究総合調査から見えてきたこと -	馬場 房子	38～40
1996	10	特集 女性科学者 海外の話題	職業について考え直す米国の大学の女性化学者たち	大野 涼	41
1996	10	特集 女性科学者 海外の話題	外国に紹介された日本の女性科学者としての猿橋勝子先生	大隈 正子	42～43
1996	10	特集 女性科学者 関係資料	資料1 婦人研究者の地位の改善について(要望) 昭和52年5月23日	日本学術会議会長 越智 勇一	44～46
1996	10	特集 女性科学者 関係資料	資料2 婦人研究者の地位の改善に資するための総合的調査機関の設置について(要望) 昭和60年6月11日	日本学術会議会長 塚田 裕三	46～48
1996	10	特集 女性科学者 関係資料	資料3 女性科学者の環境改善の緊急性についての提言(声明) 平成6年5月26日	日本学術会議 第118回総会	49～50

1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料4 女性科学研究者の環境改善に関する懇談会	JAICOUS	51
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料5 女性科学研究者の環境改善に関する懇談会 要望書 1996年2月15日	JAICOWS会長 一番ヶ瀬 康子 他有志一同	51~52
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料6 日本学術会議第16期 各部別女性研連委員数等調べ		52
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料7 表1 国立大学教員数大学別一覧		53
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料7 表2 学部系統別 国立大学教員数		54
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料7 表3 国立大学理学部教官数		55
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料8 表1 高等教育機関における女性教員数(4年生大学・短期大学)		56
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料8 表2 高等教育機関における女性教員数(大学院担当者)		57
1996	10		資料8 図1-1 4年制大学教員の職名におけるジェンダー構造		57
1996	10		資料8 図1-2 短期大学教員の職名におけるジェンダー構造		57
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料9 専攻分野別総数に占める女子学生の割合(大学・学部)		58
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料10 表1 理系志望高校生の理科得意・不得意		58
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	図1 自然系大学入学者学科別女性比(1992年)		59
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	図2 大学、大学院入学者専攻別女性比(1992年度)		59
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	図3 米国専攻別学士取得者女性比(1989年)		60
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	表2 専門別自然科学系研究者推移		60
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	図4 専門別自然科学系女性研究者増加率(1980年を1とした比率)		61
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料11 世界の大学・物理学部の職員に占める女性の割合(『サイエンス』1990・5・11より)		61
1996	10	特集 女性科学研究者 関係資料	資料12 図1 日本生理学会における女性研究者の比率		62
1996	10		図2 米国生理学会における女性研究者の比率		62
1996	10		図3 日本生理学会女性研究者の地位		62
1996	10		図4 米国生理学会女性研究者の地位		62

1996	11	随筆	クォータ制に思う	森島 啓子	55～56
1996	11	諸外国学術事情	グローバリゼーションとジェンダーの法社会学 - グラスゴ - 国際法社会学会に出席して -	利谷 信義	76～78
1997	1	特集 平和と共生	地球時代とアジア - 平和・人権・共生の文化を -	堀尾 輝久	22～28
1997	1	諸外国学術事情	21世紀の生活環境 - グローバルな責任と家政学の役割 - 第18回国際家政学会議出席の報告	内藤 道子	78～80
1997	8	日本学会会議だより	子どもと家族～家政学研究連絡委員会の活動から～	島田 淳子	74～75
1997	9		皆で育てよう『学術の動向』 - ドキュメント:新委員会の発足 -	島田 淳子	96～97
1997	10	論壇	平和研究にジェンダーの視点を	石井 摩耶子	30～32
1997	12	論壇	フェミニズムと法律学	浅倉 むつ子	40～41
1998	1	特集 地球の未来～人全の存続	家族のゆくえ - 多様なライフスタイルを選択するネットワーク家族	塩原 勉	9～11
1998	2	論壇	非常勤講師問題に思う	直井 道子	32～33
1998	2	国際派遣報告	労働法・社会保障法の国際化を展望～国際労働法・社会保障学会第15回世界大会に参加して～	浅倉 むつ子	84～85
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	ジェンダー・セックス、セクシュアリティをめぐって	原 ひろ子	8～13
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	日本において女性研究者の育成を阻害する要因・促進する要因	馬場 房子	14～16
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	社会政策とジェンダー統計	伊藤 セツ	17～19
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	ジェンダーと性役割	内藤 和美	20～23
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	ジェンダーと性暴力	加藤 春恵子	24～26
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	ジェンダー概念はフェミニズム文学批評に何をもたらしたか？	小林 富久子	27～29
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 -	性差の科学と学術のジェンダー構造	池内 了	30～32
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	国立大学学部学生数 大学別一覧(平成4年5月1日現在)		33
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	専門分野別 学部学生数(平成4年5月1日現在)		34 - 35
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	国立大学教員数大学別一覧(平成4年5月1日現在)		36
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	私立大学71校教員数大学別一覧		37

1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	Characteristics of Recipients of Doctorates, 1995		38
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	Degrees Conferred by Racial and Ethnic Group, 1994-95		39
1998	4	特集 ジェンダー - 社会的・文化的・「性別」と現代 - 関係資料	Characteristics of Full-Time Faculty Members With Teaching Duties, Fall 1992		40
1998	5	研究連絡委員会の活動から	現代における家族の問題と家族に関する教育 - 家政学研究連絡委員会の活動から -	島田 淳子	82 ~ 83
1998	10	論壇	母性的養育の喪失	辰野 千壽	38 ~ 40
1998	10	トピックス	科学を愛し、科学を楽しむ - 第18回「猿橋賞」贈呈 -	猿橋 勝子	56 ~ 59
1999	1	特集 少子化の問題点	子ども達の視点で	鴨下 重彦	28 ~ 29
1999	1	特集 少子化の問題点	日は沈むのか	多田 啓也	30 ~ 35
1999	1	特集 少子化の問題点	少子社会と教育	田中 敏隆	36 ~ 39
1999	1	特集 少子化の問題点	少子化を考える - 女性の立場から -	伊藤 セツ	40 ~ 44
1999	1	特集 少子化の問題点	少子化を考える - 産婦人科医の立場から -	古賀 詔子	45 ~ 50
1999	1	特集 少子化の問題点	少子化を取りまく問題	小田 清一	51 ~ 54
1999	3	論壇	医学における女性	森島 久代	65 ~ 66
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	不妊治療の倫理問題	加藤 尚武	6 ~ 9
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	生殖医療を文化的・社会的文脈に置きかえず	柘植 あづみ	10 ~ 14
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	医療プロフェッションの責務 - ドイツの事例から -	市野川 容孝	15 ~ 19
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	人工的生殖補助技術利用の法的規制をめぐって	岩志 和一郎	20 ~ 24
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	生殖補助医療の現状と将来	森 英	25 ~ 30
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	生殖医療と声明倫理「多胎妊娠とその問題点	矢内原 巧	31 ~ 37
1999	4	特集 生殖医療とその社会的受容	生殖の人為支配 - 動物生産から臨床応用へ -	入谷 明	38 ~ 44
1999	5	国際派遣報告	第10回ヨーロッパ労働経済学会に参加して	伊藤 セツ	83 ~ 85
1999	6	論壇	女性研究者のキャリア形成	直井 道子	38 ~ 40

1999	6	トピックス	サイエンスフォーラム基調講演 少子高齢化と地域社会	袖井 孝子	68～72
1999	7	特集 第6回アジア学会議	環境、資源、人口および人権：ー日本女性としての見解	原 ひろ子	16～21
1999	9	論壇	科学を愛する人々に支えられて - 第19回「猿橋賞」受賞 -	持田 澄子	40～45
1999	10	特集 日本学会議創立50周年	SCJにおける女性研究者問題とはじめ	猿橋 勝子	32～35
1999	10	特集 日本学会議創立50周年	女性科学者の今昔	一番ヶ瀬 康子	36～39
1999	10	論壇	勤め続ける&再出発のための10ヶ条	島田 淳子	44～47
1999	11	特集 科学・技術と社会	男女共同参画社会の立場から	都河 明子	16～19
1999	11	随筆	女性自然科学者の育成に思う	前田 侯子	50～53
1999	11	トピックス	第11回 国際女性技術者科学者会議(ICWES11)	数野 美つ子	54～57
1999	12	特集1 日本学会議第131回総会	日本学会議の自己改革について(声明) 平成11年10月27日	日本学会議第131総会	24～36
1999	12	CONGRATULATION	日本女性科学者の会奨励賞・功労賞について	数野 美つ子	74～76
2000	1	新春 学術研究の国際ネットワーク	ナイルのほとりで	名取 はにわ	48～49
2000	2	随筆	自負と自省と - 家政学の立場から -	酒井 豊子	36～38
2000	2	国際会議報告	地球環境保全への科学技術的貢献を世界に示す「第11回国際女性技術者・科学者会議」を開催して	都河 明子	51～53
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	日本学会議における男女共同参画へのアプローチ	尾本 恵市	6～7
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	科学研究におけるジェンダーの問題	安川 悦子	8～15
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	キャンパス・セクシュアル・ハラスメント - 実態・対応・課題	上野 千鶴子	16～23
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	世界の学術における男女共同参画 - 平成10年度学術研究総合調査から -	原 ひろ子	24～31
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	天文学における女性研究者の現状について	池内 了	32～37
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	女子差別撤廃条約と日本の法制度	東 壽太郎	38～41
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	日本の工学関連分野における男女共同参画の現状	末松 安晴	42～45

2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	日本の農学関連分野における男女共同参画の現状	崎山 亮三	46～49
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	経済学関連分野における男女共同参画の現状	鶴田 満彦	50～53
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	男女共同参画社会における日本の学術「医学関連分野」	黒川 清	54～58
2000	6	特集 男女共同参画社会における日本の学術	日本学術会議に女性会員はなぜ増えないのか	富田 正彦	59～63
2000	6	論壇	アメリカと日本における女性科学者	阿部 悦子	66～73
2000	6	国際派遣報告	日本の研究を国際化するために - 南アフリカでの国際第四紀学研究連合(INQUA)第15回大会に参加して -	太田 陽子	81～83
2000	7	特集 第132回総会	女性科学者の環境改善の具体的措置について(要望)	日本学術会議 第132回総会	16～17
2000	7	特集 第132回総会	日本学術会議における男女挙動参画の推進について(声明)	日本学術会議 第132回総会	18～20
2000	9	特集 第18期始まる	日本学術会議第18期会長代表挨拶	井上 和子	12
2000	9	特集 第18期始まる	日本学術会議第18期役員・委員	日本学術会議	14～17
2000	9	特集 第18期始まる	日本学術会議第18期女性会員	日本学術会議	18～21
2000	9	CONGRATULATION	自然の美しさに魅せられて - 第20回「猿橋賞」受賞 -	中西 友子	58～61
2000	11	随筆	つくることと世話すること - プロセスにかかわることの大切さ -	中間 美砂子	54～57
2000	11	CONGRATULATION	第5回女性学研究国際奨励賞を受賞して	小野沢 あかね	58～59
2000	12	随筆	児童虐待防止法制定に思う	岩井 宜子	72～75
2001	3	随筆	第6回目の生活時間調査を終えて	伊藤 セツ	72～75
2001	5	随筆	学会会場の保育室	加藤 万里子	58～61
2001	6	特集 特別委員会の活動経過(運営審議会附置「日本の計画」委員会を構成する特別委員会委員長による)	ジェンダー問題への日本学術会議の新たな取り組み - 「ジェンダー問題の多角的検討」特別委員会の課題 -	蓮見 音彦	30～33
2001	6	随筆	司法(制度改革)におけるジェンダー・バイアス	神長 百合子	72～75
2001	7	特集 大衆化された大学での教育はいかにあるべきか	大衆化した中小規模の私立女子大学からの発言	安本 教傳	43～46
2001	8	CONGRATULATION	地球や惑星をつくったもの - 第21回「猿橋賞」受賞 -	永原 裕子	68～73
2001	8	CONGRATULATION	学際的、独創的、そして自分らしい研究をめざして - 第20回山川菊栄賞を受賞して	柘植 あづみ	74～79

2001	9	随筆	男女共同参画とポジティブ・アクション	辻村 みよ子	44～47
2001	11	特集 日本社会の変容と教育の将来	男女平等と学校教育	植野 妙実子	62～65
2001	11	特別委員会の活動から	研究者の別姓使用に関するアンケート結果について - ジェンダー問題の多角的検討特別委員会 -	池内 了	88～91
2001	12	国際派遣報告	第20回国際家政学会京都会議への始動 - 第19回ガーナ会議参加報告より -	田村 照子	92 - 94
2002	2	学術の周辺 オアシス	オーロラの下で	原 ひろ子	53
2002	2	学術の周辺 私が研究者になるまで(2)	困難の影に喜びあり - 障害児の母の研究者人生	岩井 宜子	62～63
2002	2	研究連絡委員会の活動から	男女共同参画社の法と制度 - 公法学研連シンポジウム -	外間 寛	78～80
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その1	発達心理学の研究にジェンダーの視点を取り込む	柏木 恵子	8～11
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その1	ジェンダーと三つの政府体系	神野 直彦	12～17
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その1	日本の福祉国家とジェンダー - 社会政策研究に即して -	大沢 真理	18～22
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その1	Gender-Specific Medicine の重要性	天野 恵子	23～26
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その1	女性学・男性学・ジェンダー研究からの提起	館 かおる	27～31
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その2	ジェンダーの視点に立った「開発」研究の展開と射程	伊藤 るり	32～35
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その3	フェミニスト犯罪学と刑事司法	岩井 宜子	36～40
2002	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から その4	国立女性教育会館の女性学・ジェンダー問題に関する取り組みと今後の課題	大野 曜	41～48
2002	4	活動の報告 研究連絡委員会の活動から	21世紀における「真に豊かな生活」の実現に向けて - 第17期家政学研究連絡委員会の活動を振り返る -	島田 淳子	77～79
2002	5	国際派遣報告	国際労使関係協会第6回欧州会議 ヨーロッパ統合と新しい労働のあり方	浅倉 むつ子	86～88
2002	6	特集 日本の計画	ジェンダーの視点からの「日本の計画」への提案	蓮見 音彦	40～41
2002	7	特集 ノーベル賞100周年記念国際フォーラム「創造性とは何か」	東京会場パネルディスカッション「創造性」をめぐり示唆に富む意見	黒川 清	54～58
2002	7	国際派遣報告	Law in Action の把握を模索して - アメリカ「法と社会」学会・国際法社会学会合同年次大会 -	神長 百合子	87～89
2002	8	活動の報告	「青少年の躰」 - 近隣社会をあげて - 報告書 - 総司会の立場から 平成13年度日本学術会議主催 日中韓国際公開シンポジウム	田中 敏隆	82～83
2002	9	CONGRATULATION	動く仕組みに魅せられて - 第22回「猿橋賞」受賞 -	真行寺 千佳子	63～66

2002	9	CONGRATULATION	転移因子マリナーに関する研究 - 日本に生息する異種間での水平伝播の可能性 - 第4回「大学婦人協会・守田科学研究奨励賞」受賞 -	中島 裕美子	67 ~ 69
2002	9	CONGRATULATION	新しい研究のパラダイムを目指して - 第4回守田科学研究奨励賞を受賞して -	大島 まり	70 ~ 72
2002	11	国際派遣報告	マニラ3日間 第7回国際労働法社会保障学会アジア地域会議	林 弘子	77 ~ 79
2002	12	学術からの発信	高齢社会と予防医学 - ライフスタイルの重要性 -	折茂 肇	39 ~ 44
2002	12	学術の周辺	学協会や国立大学における男女共同参画の推進の動向 男女共同参画特報	原 ひろ子	87
2003	1	学術の周辺	私が研究者になるまで - キャンパスの外で学んだ政治学 -	毛里 和子	74 ~ 75
2003	3	CONGRATULATION	受賞が私にもたらしたもの - 第2回日本動物学会OM賞 -	成瀬 真弓	54 ~ 55
2003	3	CONGRATULATION	動物学会OM賞を受賞して - 第2回日本動物学会OM賞 -	向後 晶子	56 ~ 57
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	性差医学	折茂 肇	8 ~ 12
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	精神医学とジェンダー	高橋 清久	13 ~ 19
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	学術の再点検 - 男性学・男性研究の視点から -	伊藤 公雄	20 ~ 23
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	学術の再構築とフェミニスト経済学	鶴田 満彦	24 ~ 27
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	ジェンダー統計・ジェンダー統計研究の動向	伊藤 セツ	28 ~ 31
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	企業における女性技術者の役割	内海 房子	32 ~ 35
2003	4	特集 学術の再点検 - ジェンダーの視点から (その2)	学校教育とジェンダー: 研究と実践の動向	村松 泰子	36 ~ 40
2003	4	学術の課題(特別論考)	学術とジェンダー	原 ひろ子	53 ~ 56
2003	4	学術の周辺	オアシス「20年前の中国旅行」	岩井 宜子	54 ~ 55
2003	4	国際派遣報告	「法と社会研究」の真の国際的展開へ向けて - アメリカ法と社会学会からの示唆 -	和田 仁孝	67 ~ 69
2003	5	学術の周辺	研究の最先端「ジェンダー研究の拠点」	森本 泰代	54 ~ 55